

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしそとばあく

第 68 号

2022年3月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

特集 今こそ♪

広報活動に力を入れましょう！

広報活動の取り組みを上手に行っている団体さんのコツや工夫についてお話を聞きました♪



郡山ひまわりの会（郡山市）

しゅふコミ（郡山市）

写真提供：しゅふコミ



NPO法人
裏磐梯エコツーリズム協会
(北塩原村)



写真提供：NPO法人裏磐梯エコツーリズム協会



NPO法人高次脳機能障がい友の会うつくしま

写真提供：NPO法人高次脳機能障がい友の会うつくしま

(特)集

今こそ♪ 広報活動に力を入れましょう♪



◎ shiyufumi 代表 横尾 恵美さん

任意団体

しゅふコミ

私自身の経験から、子育て中の孤独感の解消のためにママ達のミニティが必要だと感じ、未就園児の子を持つ子育てサークル（20名くらい）の活動を始めました。新型コロナウィルスの感染拡大により、一昨年、子育てサークルは、解散しました。しかし、この「コロナ禍で集まることの出来ない代わりに、つながりの場をインターネットに移して、みんなで交流出来たらいいな」と考え、SNSのInstagramで「しゅふコミ」の名称で子育て掲示板のような機能を持つ、情報発信を始めました。



公式 Web



横尾さん

活動のきっかけは、

広報活動を教えてください？

横尾さん まずは、SNSでの情報発信による広報活動ですね。

その他に、新聞社・テレビ局にもプレスリリーを行い取材に来ていただき、テレビで放映していただきました。

任意団体

中途身体障がい者の自助・共助組織

郡山ひまわりの会

日下さん 私自身が、中途身体障がい者になって、地域社会に受け皿がないことに気が付いて、自分達でつくって、本当に良いものが出来るうれしさを伝えたくて持つきました。今後も継続して行けるように、様々な工夫をして取り組んで参ります。

日下さん 私自身が、中途身体障がい者になって、地域社会に受け皿がないことに気が付いて、自分達でつくって、本当に良いものが出来るうれしさを伝えたくて持つきました。今後も継続して行けるように、様々な工夫をして取り組んで参ります。

日下さん 私自身が、中途身体障がい者になって、地域社会に受け皿がないことに気が付いて、自分達でつくって、本当に良いものが出来るうれしさを伝えたくて持つきました。今後も継続して行けるように、様々な工夫をして取り組んで参ります。

日下さん 私自身が、中途身体障がい者になって、地域社会に受け皿がないことに気が付いて、自分達でつくって、本当に良いものが出来るうれしさを伝えたくて持つきました。今後も継続して行けるように、様々な工夫をして取り組んで参ります。



◎ 郡山ひまわりの会 代表 日下 博和さん

広報活動を教えてください？

日下さん

広報活動として、会員全員の参加が出来るように広報誌の作成



こおりやまNPO
ウェブガイド





④ NPO法人裏磐梯エコツーリズム協会
会長 真野 真理子さん

写真提供：NPO法人裏磐梯エコツーリズム協会



公式 Web



眞野さん 2007年6月（平成19年）に、みなし法人（任意団体）としてスタートしました。後継につなぐ目的で2017年9月にNPO法人化し、正会員40名で様々な役割を分担し活動しています。

私たちの活動は、「村民総ガイド」を目指し人材育成の講座「磐梯の宝発見講座」の開催。もう一つの取り組みは、磐梯山の噴火後130年という若い自然の生育の変化を毎年、モニタリング調査し記録する活動です。

広報活動を教えてください？

眞野さん 私たちの広報活動は、各プログラムを出来るだけ広く多くの方に知つていただき、裏磐梯の自然を感じていただきために参加してもらつことを目標と広報しています。

昨年から、より多くの方に裏磐梯の自然を知つてもらうために、YOUTUBEの活用をはじめました。ドローンを操作できる会員が担当し、美しい風景や活動の動画を撮影・編集も会員自らで行い、100本以上の動画をアップし、6万回以上の再生数となっています。

講座やイベントは、担当の会員がチラシを作り、市民に向けて公民館や関係先に配布して広報に取り組んでいます。

この2年、新型コロナ感染症の影響

で様々なことが制限されてきました。私たちの役割として、裏磐梯での国立公園を楽しむという視点で、広く様々な方に利用していただきために、自然を体験し、癒しや楽しいプログラムを提供して行きたいと思います。

各プログラムとともに、ホームページやFacebookなどのSNSで発信しています。SNSでは、動画や写真などを織り交ぜ工夫しながら多数の「いいね」の反応をいただいています。

この障がいに対する社会での認知はまだ低く、高次脳機能障がいになった当事者や家族の疲弊する状況をなんとかしなければならないとの思いから活動をするようになりました。

平成11年に全国の会が発足し、その後、福島県の3家族で福島支部を立ち上げました。その後、一度解散したのですが、平成20年に再び結成し、翌年、福島県での高次脳機能障がい支援機関として、総合南東北

病院に福島県高次脳機能障がい支援室が設置され、相談事業や家族サロンを開催し、その活動に協力する形で取り組みを行ってきました。更に皆さんのお住まいになつて、県内6か所に支援室が開設されました。

全国的に少しづつ進んできた活動ですが、福島県内での障がいに対する周知・啓発や支援などの社会の理解を得るためにNPO法人を設立しました。今年の秋には、2日間に渡り、郡山市で全国大会の開催を予定しています。

私たちのNPOが目指す、社会での認知向上や仕組みづくりは、始まりたばかりです。障がいを持つご本人やご家族が、地域で暮らし続けて行くための社会資源もまだまだ、充分ではありません。私たちのできることから、一歩づつ、活動を進めて参ります。

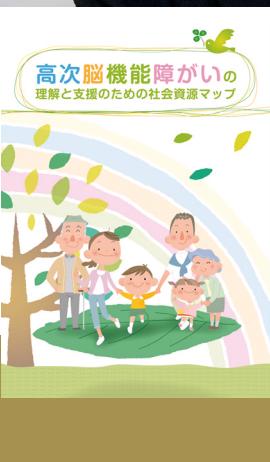


NPO法人紹介コーナー

NPO法人高次脳機能障がい友の会うつくしま



④ NPO法人高次脳機能障がい友の会うつくしま
理事長 遠藤 良一さん



参考

福島県高次脳機能障がいパンフレット
(福島県、福島県高次脳機能障がい支援室)

公式 Web



情報発信BOX



市民活動もデジタル化時代
～DXにトライする！！～

◆市民活動のDX（デジタルトランスフォーメーション）は、動画でPRが出来るYOUTUBEの活用からですね。

活動紹介をデジタル化し、動画で説明することにより多くの人に届けることが可能です。

動画プラットフォームとして代表的なYOUTUBEの活用をご案内します。アカウントの開設や動画投稿、管理方法をご案内します。また、運用しながら、様々な困りごとを伴走しますので動画撮影が初めての団体でもチャレンジを応援いたします。



NPO法人を設立しませんか！

設立相談について、随時受付中！

◆NPO法人の設立は、定款の作成から始まります。

◆でも、ご心配なく。定款の雛型と作成の進め方の案内などを用意し、丁寧に説明します。

こんなお手伝いをしています。

- ① 定款作成をサポートします。
- ② 申請書類を添削しサポートします。
- ③ NPO法人制度や設立方法の説明

※出前講座も実施しています

市民とつながるNPOポスター展

第3回市民とつながるNPOポスター展スケジュール

開催日：2022年3月1日～3月15日
会場：駅前ピッグアイ6階市民プラザ

開催日：2022年3月16日～3月31日
会場：日和田ショッピングモールフェスタ

問 郡山市市民活動サポートセンター



市民活動交流サロン「市役所deかふえ」

開催日：2022年3月18日（金）15:30-17:00
会場：郡山市郡山公会堂

問 郡山市市民活動サポートセンター



※市民活動に取り組む皆様の活動情報をお知らせください

専門相談会

相談無料

- 多文化共生社会の実現
- SDGsの推進
- クラウドファンディング活用



相談テーマ：多文化共生社会の実現

専門相談員 2022年 3/22
三田 真理子 (火)

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ：SDGsの推進

専門相談員 2022年 3/23
加藤 志津佳 (水)

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ：クラウドファンディングの活用

専門相談員 2022年 3/24
中瀧 亮兵 (木)

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



発行 郡山市市民活動サポートセンター

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始

電話/FAX 024-924-3352

メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp

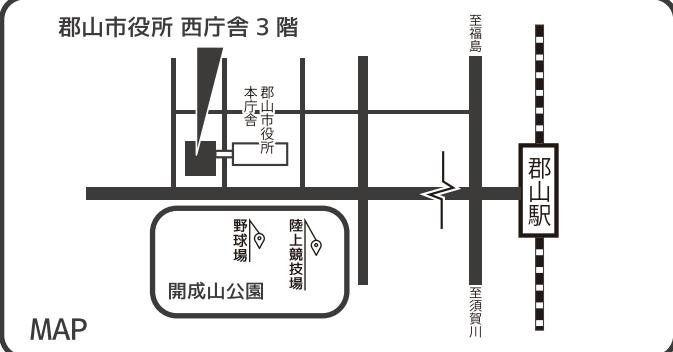
ウェブサイト <https://assistparkkoriyama.net/>

住所 〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号
郡山市役所 西庁舎3階

運営委託 郡山市市民部市民・NPO活動推進課

運営受託 NPO法人うつくしまNPOネットワーク



MAP



Web



Twitter



Facebook

